

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2さくら		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19世帯	(回答者数) 14世帯
○従業者評価実施期間	R6年 12月 23日		～ R6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日、休日、長期休暇に応じて活動プログラムを設定している。	集団活動を行いながら個の時間も大切にしている。 内容が固定しないよう、ステップアップしたり個別に目標を決めて準備を行っている。	個々の成長に合わせながらも、他者とコミュニケーションをとりながら達成感や肯定感が感じられる活動を提供していく
2	職員間のチームとしての連携	常勤と非常勤の職員間での情報の差がないよう、口頭と書面をもっての情報共有を行い、子どもたちの支援に協力していかせるよう支援を行っている。	意見の出しやすい職場環境を意識し働きやすさを良質の支援へとつなげていく
3	保護者との連携	日頃より送迎時と連絡帳を利用し子どもの発達状況や課題について情報共有を持つ機会を作っている。 必要に応じてメールや電話も活用。	連絡手段を増やすことで、より情報共有の機会を持ちやすくする(R7.2月よりLINE開始)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備について	施設が二階にあり、階段を利用して来所してもらっている。	利用の問い合わせや見学の時などに保護者、相談員等に階段があることを伝えている 利用の際には、転倒など危険がないよう指導員の付き添いを行い、危険が想定された場合には迅速に対応できるようにしている
2	保護者に対して支援について	保護者の対応力向上について相談、助言は行っているが、ペアレントトレーニングや構造化など特化した支援は行っていない。	保護者から対応についての相談などは随時行っている その都度、助言や会議などで対応を行っている
3	外部評価について	費用の捻出の難しさ	他事業所との連携交流を行うことでお互いのサービス向上や問題点の把握に結び付けられるよう工夫している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	第2さくら
------	-------

公表日 令和7年 2月 3日

利用児童数 19世帯20名(令和6年12月27日現在)

回収数 14世帯

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					現在管理者1名、保育士1名、児童指導員4名計6名で支援にあたっています。 設備に関して、階段の手すり部分にボードを設置し転落防止対策をしました。また、不審者対策、飛び出し等による危険回避のため施錠を両面シリンダーに交換しました。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2				年に2回のモニタリングや必要に応じた会議と子どもたち個々の成長に応じて個別支援計画を作成し、活動を通して生活につながる支援を心がけています。 公園遊びなど施設を利用し、地域の子どもとかかわりが持てる機会を提供しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	7		2	土日が休みなので平日だけに限られることが多く、なかなか難しいと思います。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					契約時やモニタリング時のほか、保護者会を開きその都度届きにくさを感じられる情報などについてはお知らせをさせていただいています。また、個別になりませんが利用料など不明な点が発生した場合にも質問をいただき、わかりやすさを心がけ説明させていただいています。 LINEの利用を開始することで、よりスムーズな情報の提供、共有につながればと思います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4		5		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				LINEがあるので連絡もスムーズでとても助かっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				事業所が変わって最初は不安でしたが今は楽しく通所できています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			27～29 第2さくらに行くことを楽しみにしているようでとても楽しんでいるようです。先生方にも優しく対応していただき、安心して通っているのがわかります。いつもありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				いつも急なお願い等言っても快く引き受けて下さってとても助かっています。
							地震・火災の避難訓練を年4回行い、通信やホームページ、連絡帳などで様子をお知らせしています。 事故や怪我のないよう、活動計画も立てたり環境を整えたり安全確保に努めるとともに、改善できることは確認次第対応に当たれるよう努めています。
							支援がマンネリ化しないよう日々ミーティングを重ね成長に合わせ楽しく安心して利用しえらえるよう精進します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		第2さくら			公表日		R7年 2月 3日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	職員の配置数は適切であるか。	6					
	3	事業所の施設等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	1	3	2	階段柵に登れないよう間仕切りを付けた	階段を自立して昇降できる利用者に限定されてしまっている	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		朝ミーティングを活用して行い記録を残して参加できなかった職員にも共有している		
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケートを実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6			保護者とは出来るだけコミュニケーションをとるようにしたり活動の様子を会報やホームページで伝えている		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	4		外部評価の予定は今のところたててない	
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか。	6			外部研修は出来るだけ参加している 内部研修を実施している		
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			職員間で話し合いながら行っている		
	10	こどもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	3		アセスメントシートを活用したりしている	行動表で状況を分析したり、スケジュールの視覚化など継続して行っていく	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2			常勤職員で活動プログラムを考え、非常勤職員との共有を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			内容をステップアップしたり行き先を変えたりしている		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援をしているか。	6					
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		集団活動は隔日で行い日課や必要に応じて追加で行っている。個別活動も取り入れている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			打合せや口頭、書面での共有を図っている		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			翌営業日朝ミーティングにて振り返り、共有を行っている		
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		客観的事実を記録するようにし、支援内容と結果を書くようにしている		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	6						
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4					

関係機関や保護者との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	5	1		必要に応じて学校にも参加してもらっている	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		下校時に直接話したり、電話で伝えたりしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか。	1	4	1	対象児なし	対象児無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		利用開始時に情報共有を図っている	利用開始前の担当者会議に参加していただいたり、移行シートがあれば共有をお願いしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		利用終了時の担当者会議や書面等で共有している	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	2	3	1	研修に参加し、伝達研修を行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこと活動する機会があるか。	1	2	3	公園等で交流があることもある	利用児の年齢の幅はあるが、児童館の利用などで地域の子との交流につなげたい
	27	(自立支援)協議会へ積極的参加しているか	1	3	2	本会議には参加できていないが子ども部会東区分会には参加できている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			連絡帳や送迎時に伝達している。必要時にはメールや電話も活用して伝達するようにしている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援をしているか。	1	2	3		保護者会の内容に組み込んでいきたい	
保護者への説明等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			利用契約時に伝えている	
	31	保護者から子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	1		話があったときには職員間で共有を図り相談に乗れるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより保護者同士の連携を支援しているか。	6			年に1回は保護者会を実施し、連携できるように努めている	
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			窓口をつくり周知している。入口に着けつけ用の箱を設置している。	
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			開放は基本的に毎月、ホームページは約3か月に1回の頻度で発信している。長期休み時は事前に予定表を配布している	
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6				
	36	障がいがある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	1	年に一回マルシェを開催している		
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知しているか。	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			火災（3・9月）地震（6・12月）にて実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分な説明をし了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	5		1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4	1	1		職員へ資料の周知を行っていく